

ケータイ・ライフスタイルの研究(3)

— シニアのスマホ所有 / 非所有に 影響する要因 —

飽戸 弘 (東京大学名誉教授)
栗原 一浩 (NTTドコモ モバイル社会研究所)
○ 吉良 文夫 (NTTドコモ モバイル社会研究所)

現: ドコモ・サポート株式会社

2017.09.01

1. 背景

2. 概要(今回の発表内容について)

3. シニア全体の特徴

3-1. 基本属性、ICTデバイス所有

3-2. 人間関係への影響、ライフスタイル項目

3-3. 日々の活動に着目した類型化

4. スマホ所有/スマホ非所有を目的変数とした 数量化理論第II類の計算結果

4-1. 偏相関係数、カテゴリーウェイト

4-2. 判別グラフ

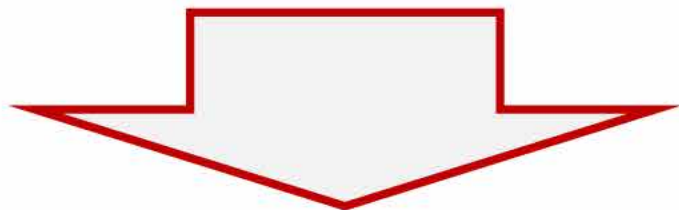
5. まとめ

シニア世代の生活をより豊かにするために
必要とされること、ICTが貢献し得ること等を検討するため、
シニアの生活実態調査(2015年10月～11月)を実施



ICT利活用に積極的なシニアが存在する一方で
ICT利活用に程遠いシニア※が一定数存在。

※ 全体の3割弱のシニアは電子メールや情報の検索などの
基本的なICTサービスを利用していない。



第一部の本稿では、
シニアのスマホ所有に影響する要因について考察するため、
スマホ所有／非所有を外的基準、ライフスタイル等を説明変数として
数量化理論第Ⅱ類で分析した結果について報告。

STEP1(1回目) 2015.10-11

シニアの類型化を実施

昨年度の日本行動計量学会にてご報告

第一部

ご報告対象

STEP1(2回目) 2017.1-2

スマホの所有／非所有に
影響する要因を分析

説明変数:

性別、年代、経済的/時間的ゆとり
日々の活動、ICTデバイス所有
イバータースケール、即時一遅延志向
など

第二部

STEP2 2017.3

スマホの使いこなし
に影響する要因を分析

(スマホ所有者を対象)

この後(第二部)の
発表にてご報告

「経年概況調査」(定量調査)

2017年調査は従来割付に加えてシニアを対象とした割付を実施。

調査時期 : 2017年1月～2月

調査対象 : 関東(1都6県)居住の15～79歳の男女

標本抽出法: クォータ・サンプリング
(性別・年齢・居住エリアで割付)

【対象1】 15～79歳の男女 「328サンプル回収」

【対象2】 60～79歳の男女 「412サンプル回収」

調査方法 : 訪問留置調査

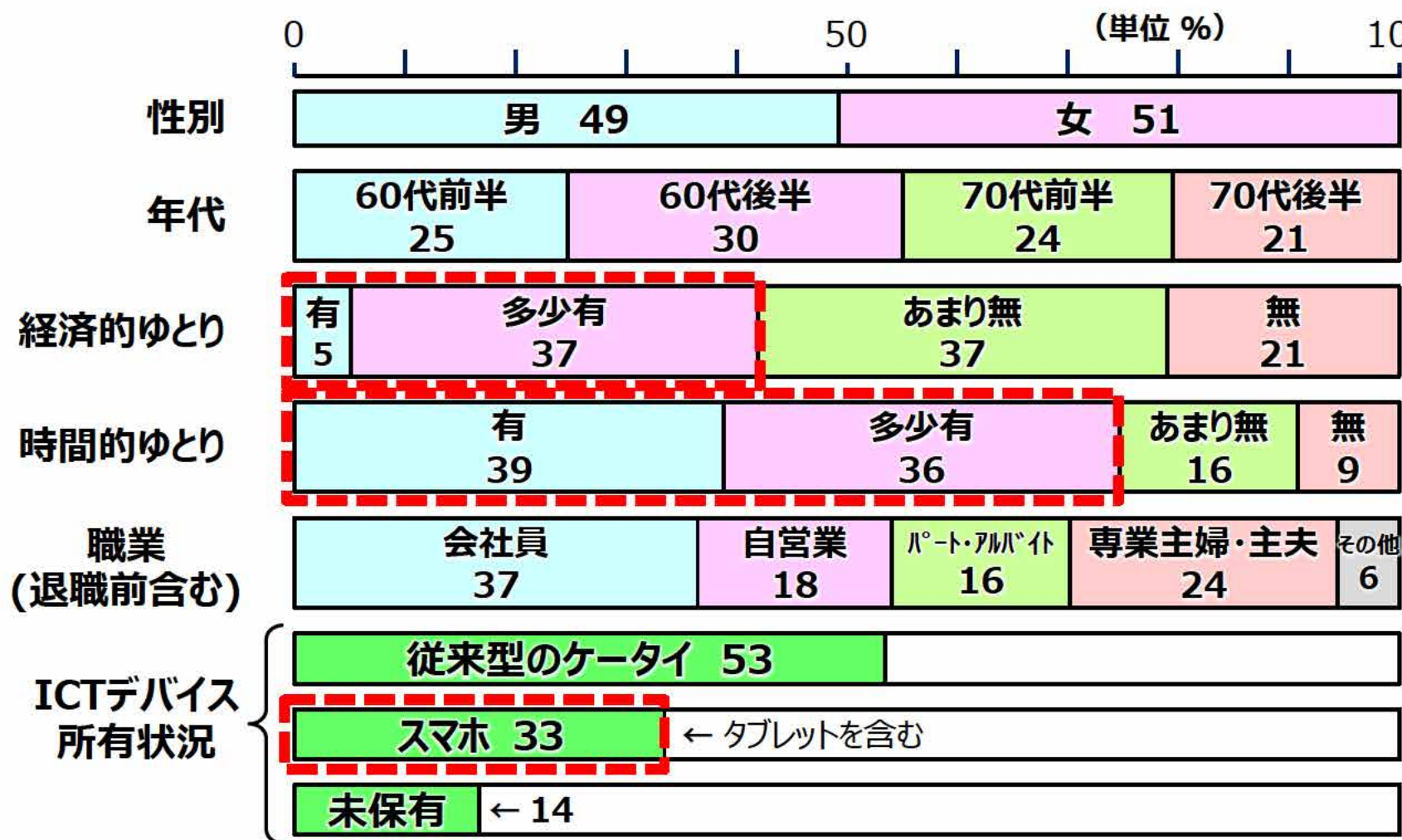


分析データ(60～79歳)として510サンプルを利用
(対象1の60歳以上の98サンプル + 対象2の412サンプル)

シニア全体の特徴（基本属性、ICTデバイス所有）（n=505※）

6/17

※ 生活実態の設問において矛盾する回答5サンプルを除外

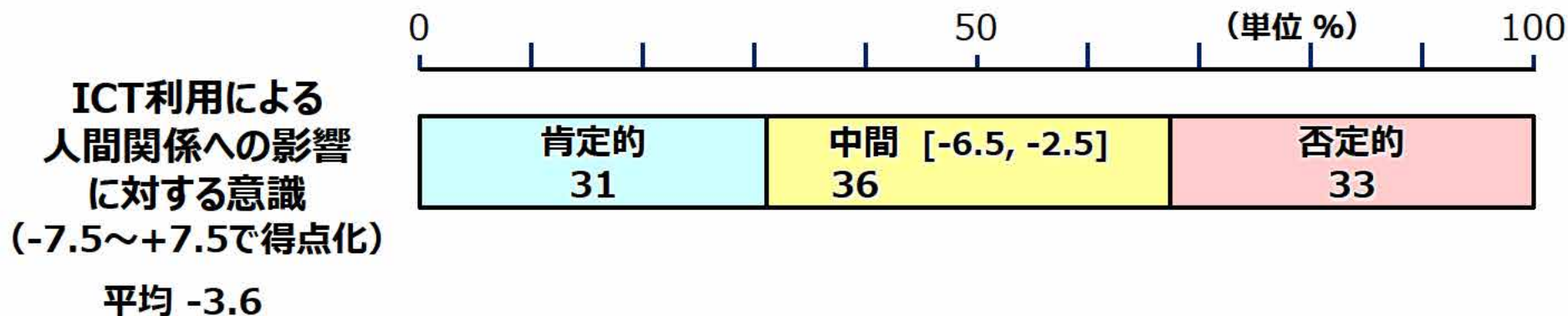


・経済的ゆとりがある(有・多少有)との回答は4割程度だが、
時間的ゆとりがある(有・多少有)と回答したシニアは7割を超える。

・シニアの1/3がスマホを所有。 「2015年度調査でのスマホ利用率は28.1%」

シニア全体の特徴(人間関係への影響)

(n = 505)



問: パソコンやケータイ、スマートフォン(タブレットを含む)により、以下の設問の通り、人間関係、交際関係に 変化がありましたか／変化があると思いますか。

- a. 新しい友達ができた／できる
- b. 交際範囲が広がった／広がる
- c. 家族との交流が密になった／密になる
- d. 知人・友人との交流が密になった／密になる
- e. 旧友との交流が復活した／復活する

それぞれ4段階で設問

- そう思う (+1.5点)
- まあそう思う (+0.5点)
- あまりそう思わない (-0.5点)
- そう思わない (-1.5点)



5項目の合計得点の
範囲: -7.5~+7.5 点

シニア全体の特徴(イノベーター得点) (n=505)



問: 2つずつ対になったA,Bの意見について、
あなたの考えに近いと思われるものを選んでください。

イノベータースケール※ (6項目から4項目)

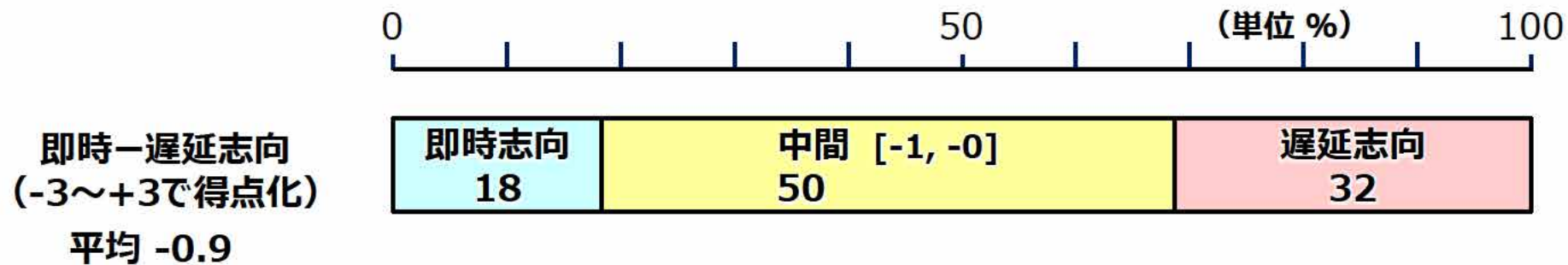
- 友達が何か変わったものを持っていると
A: すぐ欲しくなる方だ。
B: あまり気にならない。
- レストランなどでは、
A: 今まで食べたことのなかったものを注文するのが楽しみである。
B: いつもなじみのものを食べる方が安心でよい。
- 同じものをいつまでも使っていると、
A: 飽きてしまう方だ。
B: 古いものに愛着が出て、なかなか取り換えられない方だ。
- 仕事など、
A: いつもできるだけ目先の変わった新しい仕事をしたい。
B: いつもの仕事を同じようにやっていられればその方が安心でよい。

それぞれ4段階で設問



5項目の合計得点の
範囲: -6~+6 点

シニア全体の特徴(即時－遅延志向) (n = 505)

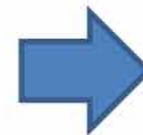


問：2つずつ対になったA,Bの意見について、
あなたの考えに近いと思われるものを選んでください。

即時－遅延志向※ (2項目)

- 臨時の収入があった場合、
A: すぐに使ってしまう方だ。
B: 貯えておいて特別な支出に回す方だ。
- ほしいものがあった場合、
A: 月賦やローンを利用してもすぐ品物を手に入れる方だ。
B: お金を積み立ててから買う方だ。

それぞれ4段階で設問

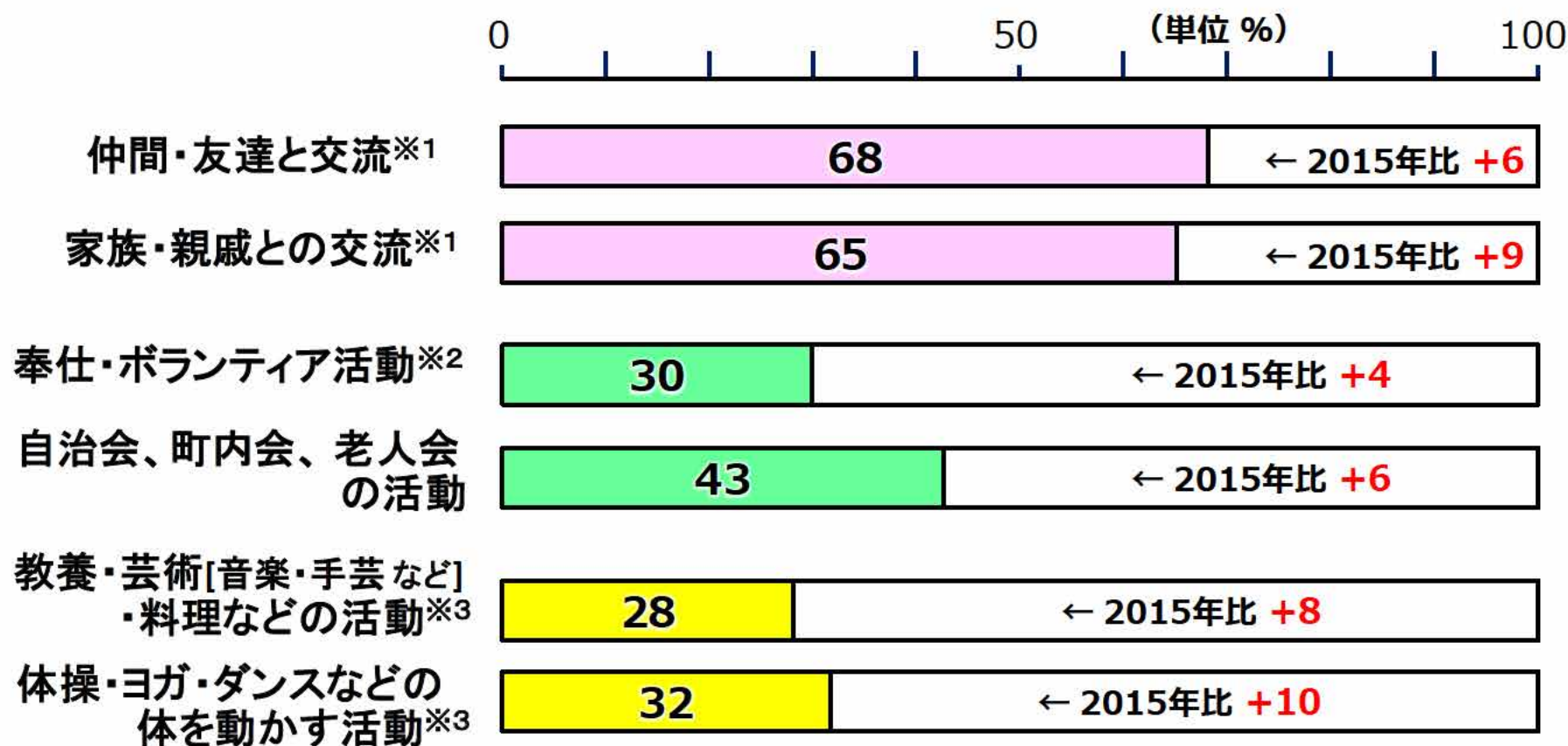


2項目の合計得点の
範囲: -3～+3 点

シニア全体の特徴(日々の活動)

(n = 505)

以下の活動(交流)に、“参加している(おこなっている)”と“ときどき参加している(ときどきおこなっている)”と回答した割合



前回調査(2015年)と比較し、全体的に数値が4%～10%増加。

※1 旅行・趣味の集まり、もしくは外食など

※2 有償・無償問わず

※3 カルチャースクール・教室・地域サークル・クラブなど

日々の活動に着目したクラスタ分析

因子分析の結果、「人との交流」、「地域活動」、「カルチャースクール」の3因子を抽出。

回転後の因子行列	因子		
	人との交流	地域活動	カルチャースクール
仲間・友達との交流	0.68	0.20	0.29
家族・親戚との交流	0.68	0.16	0.18
奉仕・ボランティア活動	0.10	0.67	0.24
自治体・町内会・老人会の活動	0.22	0.65	0.02
教養・芸術・料理などの活動	0.19	0.05	0.62
体を動かす活動	0.19	0.18	0.61

因子抽出法: 主因子法

回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

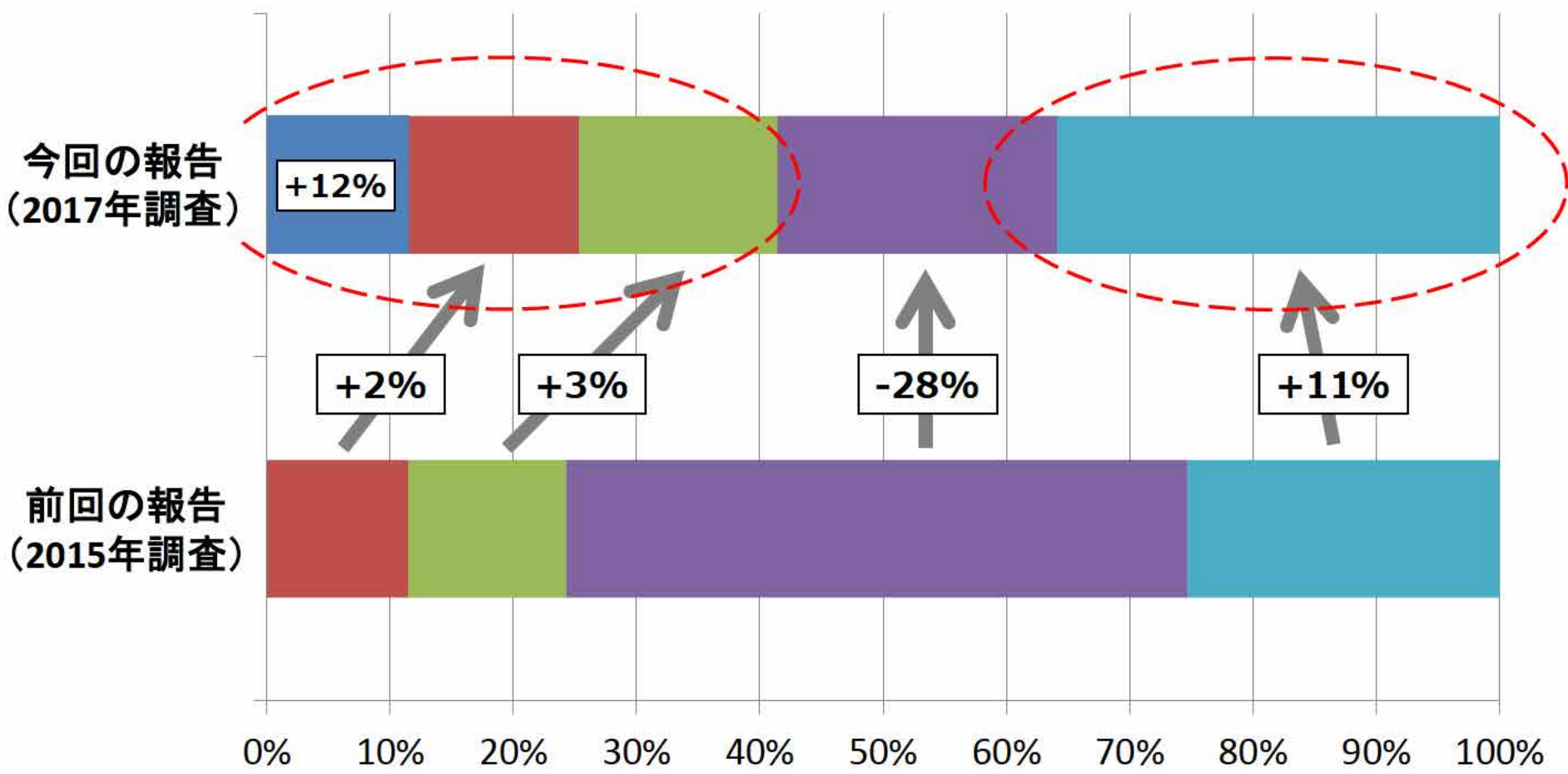
寄与率累積 = 75%

クラスタ分析の結果、以下の**5つのクラスタ**に分けられた。

		積極派	教室で いきいき	地域で活躍	仲間家族	消極派
n		56	67	78	110	174
人数構成比		12%	14%	16%	23%	36%
因子	人との交流	0.4	0.4	0.2	0.8	-0.8
	地域活動	0.6	-0.8	1.3	-0.2	-0.4
	カルチャースクール	1.3	0.9	-0.1	-0.4	-0.5

日々の活動に積極的なシニアと消極的なシニアが共に増加

■ 積極派 ■ 教室でいきいき ■ 地域で活躍 ■ 仲間・家族中心 ■ 消極派

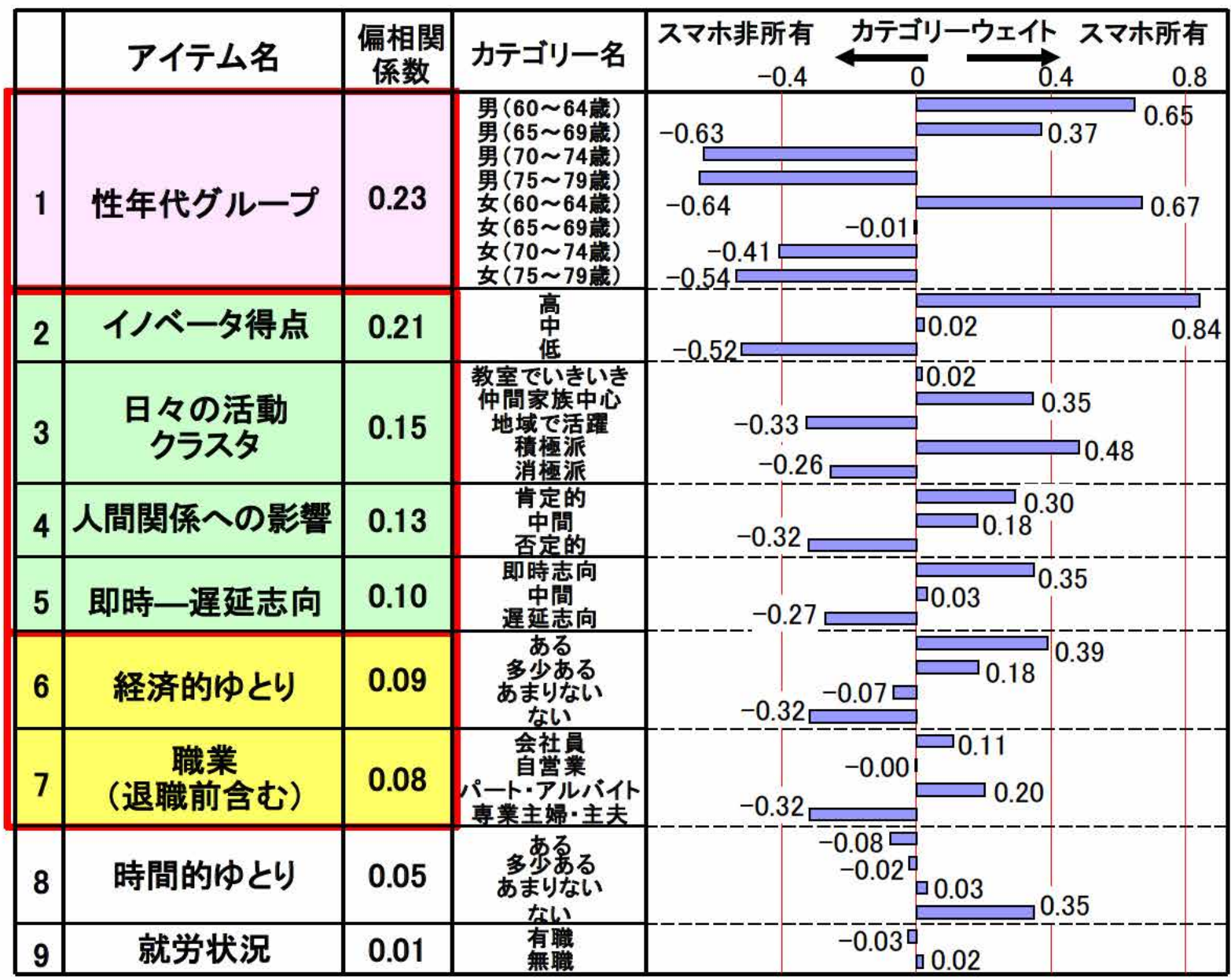


シニアのスマホ所有に影響する要因について考察するため、
スマホ所有 / 非所有を外的基準、以下の変数を説明変数とし、
数量化理論第 II 類による分析を実施

相関行列 (単相関)	性年代 グループ 5歳刻み	経済的 ゆとり 4段階	時間的 ゆとり 4段階	人間関係へ の影響 3段階	イノベータ 得点 3段階	即時—遅延 志向 3段階	日々の活動 クラスタ 5クラスタ	職業(退職 前含む) 4分類	就労 状況 有職/無職
性年代グループ	1	-0.12	0.11	0.08	0.11	0.16	-0.04	0.13	-0.27
経済的ゆとり	—	1	-0.32	0.08	-0.01	-0.21	0.15	-0.01	-0.02
時間的ゆとり	—	—	1	-0.13	0.05	0.03	-0.13	-0.03	-0.20
人間関係への影響	—	—	—	1	0.10	0.03	0.05	0.03	-0.01
イノベータ得点	—	—	—	—	1	0.29	0.08	0.05	-0.01
即時—遅延志向	—	—	—	—	—	1	0.06	0.09	-0.07
日々の活動クラスタ	—	—	—	—	—	—	1	-0.10	-0.02
職業(退職前含む)	—	—	—	—	—	—	—	1	0.38
参考)就労状況	—	—	—	—	—	—	—	—	1

↑ 分析の支障となる高い変数間相関が無いことを確認

専業主婦・主夫を有職とした場合(有職率 63%)。なお専業主婦・主夫を無職とした場合の有職率は 42%

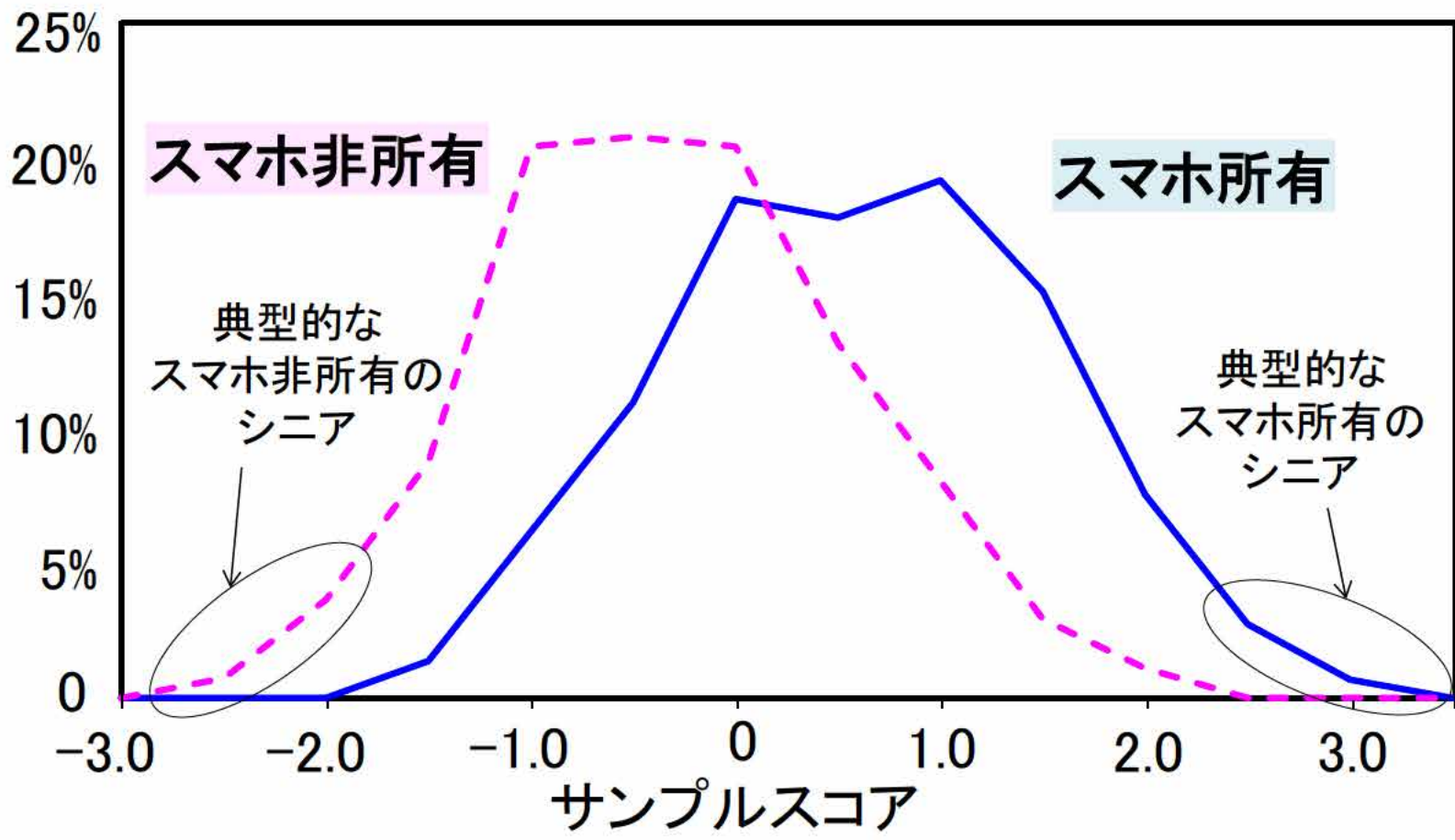


スマホ所有／非所有への影響第1位は性年代グループ

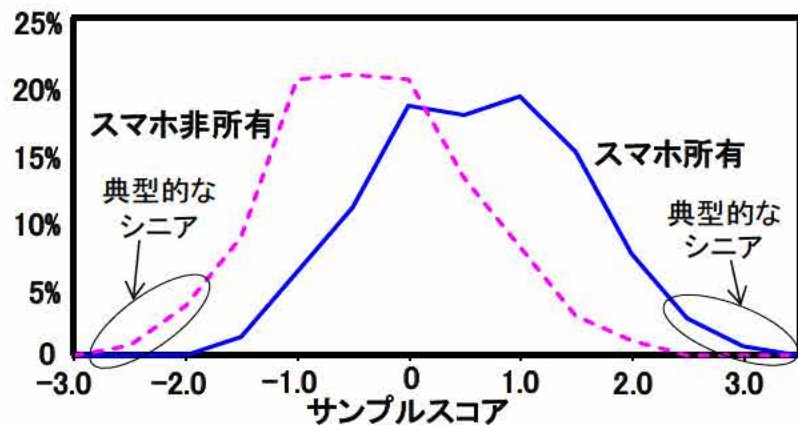
2、5位は、ライフスタイルに関する項目が並ぶ

6、7位は、経済的ゆとり、職業と続く

判別的中率：69.8%、相関比：0.198



参考) スマホ所有／非所有の典型的なシニアについて



アイテム	カテゴリー	スマホ非所有 (n=24)	スマホ所有 (n=6)
日々の活動	教室でいきいき	13	—
	仲間家族中心	—	50
	地域で活躍	17	17
	積極派	—	33
	消極派	71	—
イノベータ得点	高	—	100
	中	4	—
	低	96	—
人間関係への影響	肯定的	—	33
	中間	21	67
	否定的	79	—
即時－遅延	即時志向	—	83
	中間	17	17
	遅延志向	83	—

アイテム	カテゴリー	スマホ非所有 (n=24)	スマホ所有 (n=6)
性年代 グループ	男(60～64歳)	—	17
	男(65～69歳)	—	17
	男(70～74歳)	29	—
	男(75～79歳)	25	—
	女(60～64歳)	—	67
	女(65～69歳)	—	—
	女(70～74歳)	17	—
	女(75～79歳)	29	—
就労状況	有職	25	100
	無職	75	—
職業 (退職前含む)	会社員	38	33
	自営業	4	17
	パート・アルバイト	13	50
	専業主婦・主夫	46	—
経済的ゆとり	ある	8	—
	多少ある	25	67
	あまりない	29	17
	ない	38	17
時間的ゆとり	ある	46	17
	多少ある	25	17
	あまりない	8	50
	ない	21	17

(単位: %)

スマホ所有 / 非所有を外的基準とした数量化理論第 類により シニアのスマホ所有に影響する要因について考察



- ・最も影響が大きな項目は、性年代グループ
↑ 若い年代層ほどスマホを所有
- ・2 ~ 5位は、意識や生活態度のライフスタイル項目が並ぶ
↑ イノベーター度が高いシニア、日々の活動において積極的な
または、家族や友人などと交流(旅行・趣味、外食など)が盛んな
シニアがスマホを所有
- ・6、7位は、経済的ゆとり、職業と続く

シニアにおけるスマホの利用促進には、旅行や趣味などの
ライフスタイルに立脚したアプローチが重要

ご清聴ありがとうございました。